

ネック設備を洗い出して 電力費削減！

ParaRecolector[®] 活用事例
NPR00200-305

省エネ・見える化

課題

電気使用量を減らしたい

- 工場全体の使用量はわかる
- どのライン、どの設備の使用量が多いか把握したい

対策工程を絞れない…

- 人手不足で調査する時間がない
- 測定装置の導入にはコストがかかる

ParaRecolector 導入

従来 クランプメーターで測定



- ・手書きで記録 (10分 / 1回)
- ・煩雑な作業とあいまいな記録

測定をしなくなる…

ParaRecolector 導入 後付けセンサで自動測定



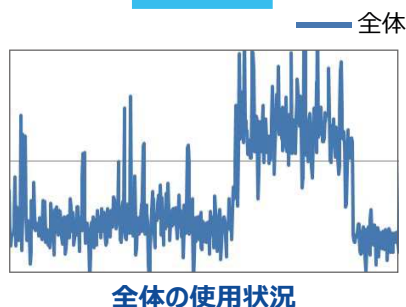
センサーは
ワンタッチ取付

- ・取付時間 30分
- ・センサによる正確なデータ記録

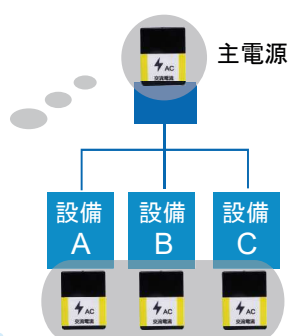
見える化

電流値を自動測定 / ネットワーク工程の発見

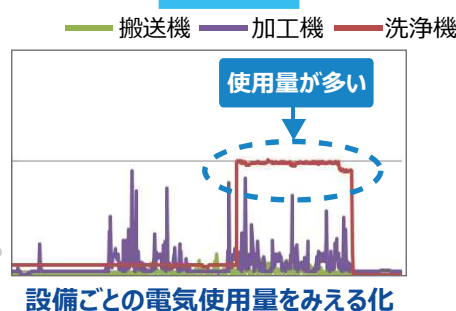
全体調査



- 1日の電気使用量の推移が見えた



細分調査



- 洗浄機の電気使用量が多い
- 使用量が多い時間帯と数値が把握できた

改善

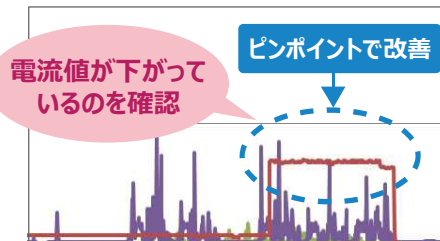
温度異常を早期に処置！

洗浄機

電気使用量の多いヒーター部分を改善

例

- ・ヒーター温度設定変更
- ・省エネヒーターに変更



効果

- 測定工数 1日測定 480分 → 30分 (取付) ▶ 95%減
- 改善ポイントの特定